

高島市の農政対策

について問う



大西 勝巳 議員

①基本対策

農業情勢が厳しい中で今こそ基本対策を打ち出さねばならない時期だが、18年度の具体的な農政基本対策と3年後、5年後の中期計画について問う。

②経営安定対策

担い手育成の取り組み内容、認定農業者、特定農業団体の増加状況、水田農業推進協議会の活動内容及び産地づくり交付金の交付見込みの状況を問う。

③農業団体等に対する支援対策

今議会に土地改良区に対する支援策として市の補助金の改定案が提案され、地元



農業体験での田植え風景

負担金が増額となるが、その理由と今後の方策を問う。高島地域農業センターの18年度の負担金の支出の計上がないが理由と今後の方策を問う。

④産業経済部長

①水田農業ビジョンに基づく施策の実施や特産品づくり、人材の発掘・育成、環境こだわり農業の推進や加工品づくりの促進等を展開していきます。

②経営安定対策対応のため、集落座談会等を実施しています。認定農業者数は、113経営体です。協議会は、生産と販売の戦略、担い手の育成、土地利用集積等

を推進してきました。18年の産地づくり交付金は、約1億3千400万円です。

③改良区へは、補助金見直しの一環として減額をお願いしました。高島地域農業センターは、市内の農業振興について、市の施策や本来の目的に沿った活発な事業が展開できるよう業務の見直しを行ってもらっているところです。

障害者の自立に

支援を求める



福井 節子 議員

①「障害者自立支援法」の施行で、利用者負担の大幅増が起きる。

利用料・医療費・交通費・食費等全てに負担が必要となり、障害者が生きて行く上でお金がないと受けられなくなる。

障害者年金とわずかの工賃収入からの応益負担は、憲法の「健康で文化的な生活」が保障されるか。市独自の支援策で社会参加の保障を。

施設の収入も激減する。法人減免により施設に新たな支出が必要となり、かつ、支援費収入が25%も減収となる。人件費削減など自助努力が求められるが、こうしたことは利用者への指導や訓練に影響

を及ぼす。安定した運営へ、施設支援も考えられたい。

②健康福祉部長

市独自の負担軽減策は考えていない

利用者負担は、所得に応じた負担から、サービス量と負担能力に応じた障害福祉サービス費の1割負担および食事等の実費負担となります。また、世帯を単位として市民税の課税・



授産施設の作業風景

非課税の状況および利用者本人の収入額により、それぞれ利用者負担の月額上限負担額が設定されます。他にも一定の条件のもと負担額が2分の一となるなどの軽減策も講じられますことから、市独自の負担軽減策は考えていません。また、法人が利用者負担を軽減した場合や施設整備を行った場合は、法人運営の健全化と利用者負担の軽減を図るため一定の割合に対し支援してまいります。

その他の質問

◆日米合同演習について

市長の平成18年度

施政方針について問う



渡邊 近治 議員

①施政方針の内容は高い理想、壮大なロマンである。しかし市民の求めているものはパイプス問題や病院、庁舎、中小商工業の振興、格差のないまちづくりなどである。現実的問題と将来的な事業の整合性をどのように調整していくのか。

②市長

予算に反映されない面も含め今後の取り組み方向等の私の思考回路の一端をお示ししたものです。現実的な課題等については、この方針を基礎に予算化等の調整を行ってまいります。

③公共料金の引き上げがされようとしている。負担は低くサービスは高いの約束事で夢

を抱いて合併を受け入れた市民は不信感を抱いている。市民への説明は十分か問う。

を抱いて合併を受け入れた市民は不信感を抱いている。市民への説明は十分か問う。

市民負担引き上げの説明はまだまだ充分ではなく、今後とも精一杯説明に努めます。

④公設駐車場の有料化に伴い、市営住宅から徴収するが、県営住宅との均衡は図れているか。また、入居者への説明は十分であったか。

⑤土木交通部長

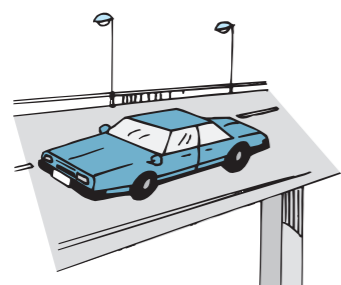
市営住宅の駐車場の有料化については、専用駐車場が整備されている6団地について、他の有料団地との均衡を考慮して平成18年度よりご負担いただくものです。

県営住宅との均衡については、現在内部で検討をされていると聞いております。

⑥市有地売却について積極的な営業活動を行なっているか。

⑦総務部長

市有地の売却につきましては、市のホームページはもとより、インターネットの利用も取り入れたいと考えております。



高島市・建設業界の

対応策を問う!



林 弘 議員

①3月議会冒頭の施政方針演説では総ての面で観光発展計画が中心の位置づけになってきた。発表された各種の計画の中で突出したものは県版経済特区の認定である。これにより環の郷計画で観光発展を維持する高島市の力強い援助が確立された。千載一遇のチャンスである。どのように活かしていくのかを問う。

②産業経済部長

湖西には豊かな自然と昔ながらの生活文化が息づいています。田舎の環境を活かした観光を展開する時代です。里山の暮らしを体験する観光を推進します。高島の自然、人、祭り、生活文化、歴史等を結びつけ地域ならではの美味しい料理やお酒などでもてなし、高島市の理解者やファンをつくらせていきます。

高島市建設業界からの陳情要望の中で反響が大きかった公共工事入札問題での最低制限価格事前公表問題では、今後十分に検討し、総合的な判断をして建設業界が基盤となり、高島市全体の総合活力を生み出すために適正価



③総務部長

入札に当たっては、漏洩をめぐり疑念対策から予定価格および最低価格を事前公表しています。最低制限価格は、工事の品質確保を図るため直接経費を確保できるよう設定しています。今後も、よりよい入札制度となるよう配慮し、市内業者優先指名に努めます。